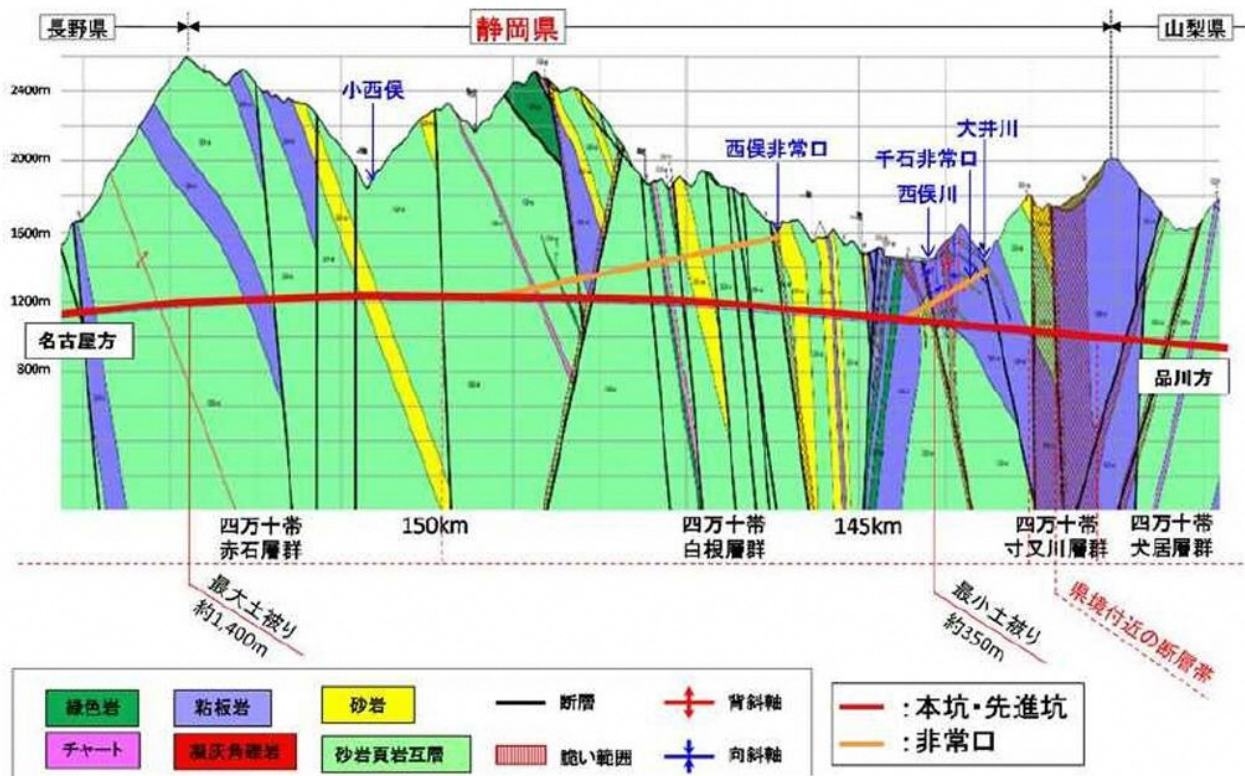


南アルプストンネル工事の難度

- 地層が複雑な南アルプスで、最難度の山岳トンネル工事が行われようとしている。
- JR東海の調査では、県境付近に大きな幅をもった断層帯の存在が考えられる。



出典：第6回リニア中央新幹線静岡工区 有識者会議（2020.10.27）資料3 P4

山梨県境付近の断層構造図

- 山梨県側の県境付近には、砂岩等の脆い地質の断層帯があると推定される。
- 県境付近の断層帯におけるトンネル土被りは約800mと大きいいため、断層や破碎帯に遭遇した際には、高圧突発湧水や大きな土圧の作用がトンネル掘削に大きな影響を与える可能性がある。

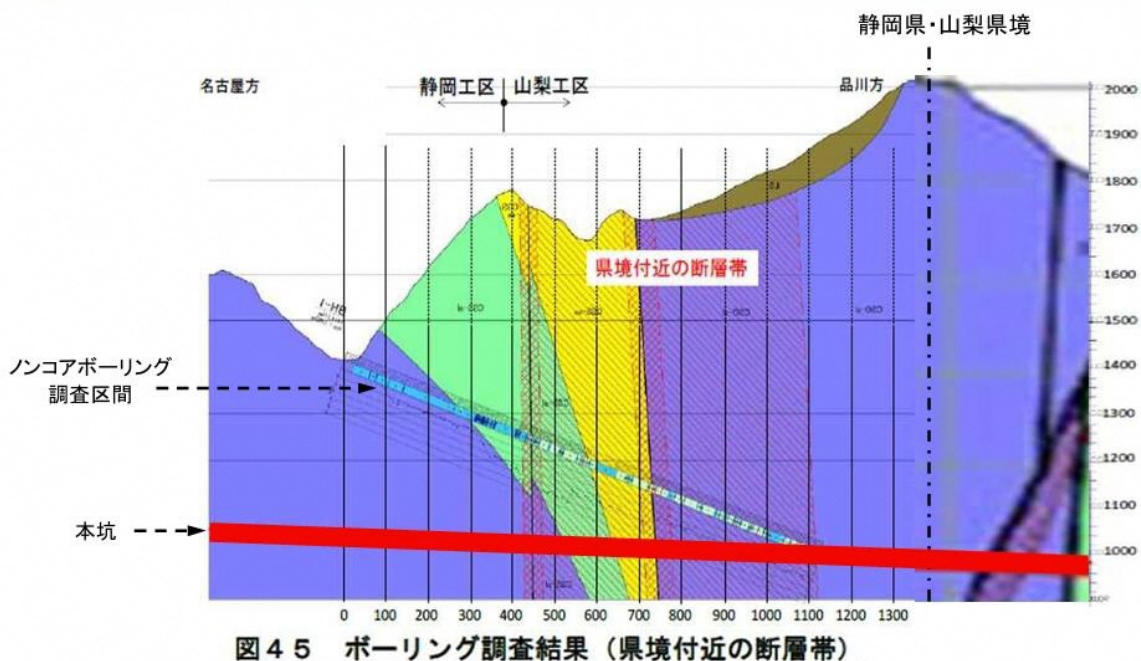
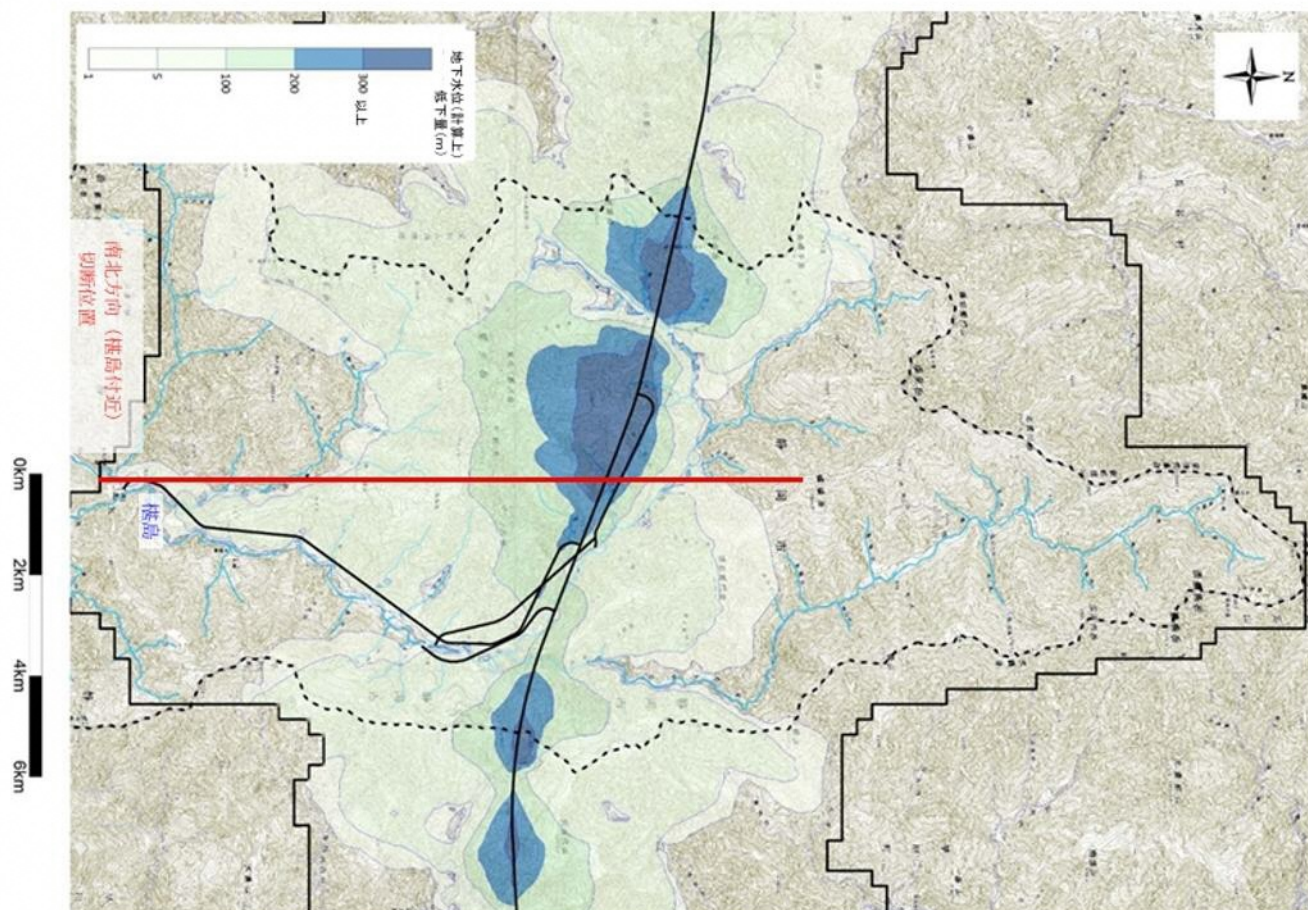
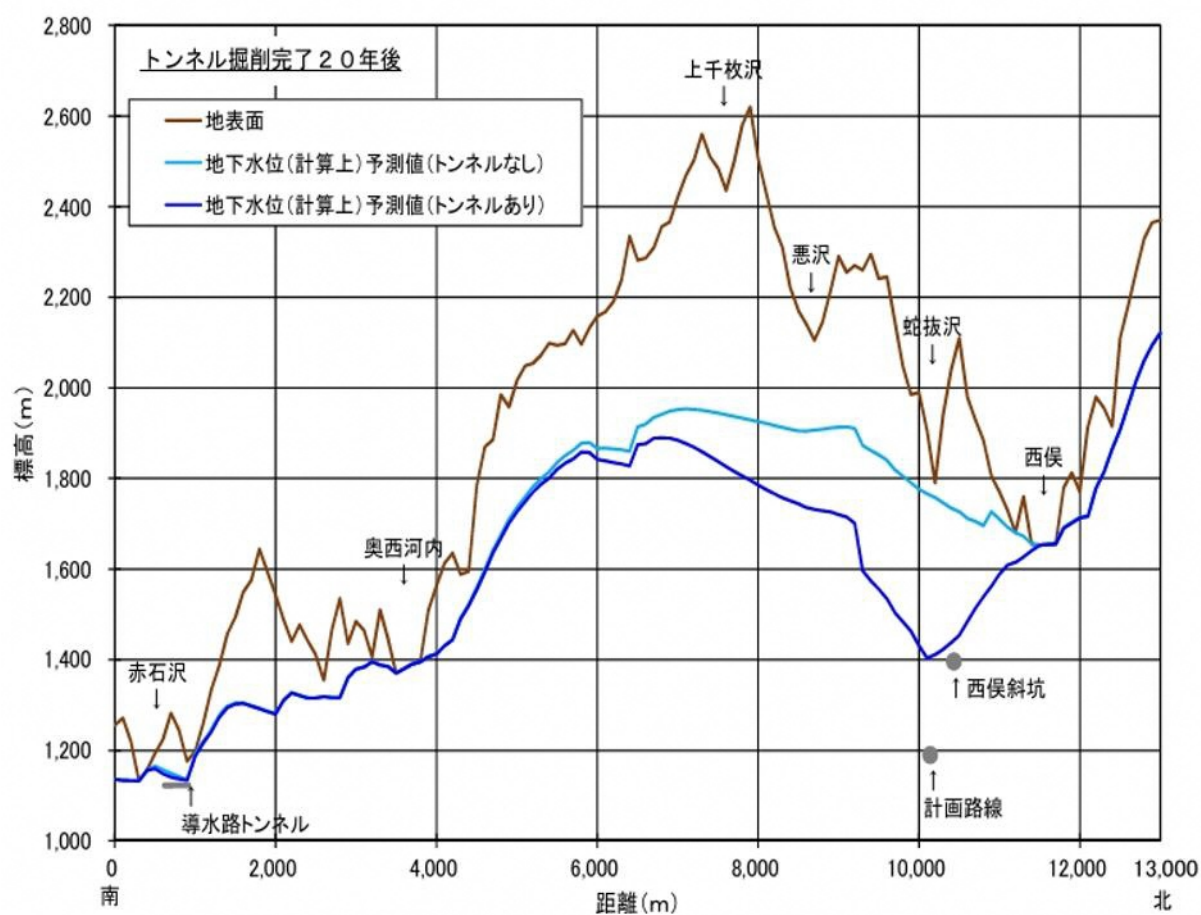


図45 ボーリング調査結果（県境付近の断層帯）

参考資料：第6回リニア中央新幹線静岡工区 有識者会議（2020.10.27）資料3 P4 地質縦断面図
第9回リニア中央新幹線静岡工区有識者会議（2021.2.28）資料3-2 P68 図45を静岡県が編集、加筆



JR東海モデル 地下水位(計算上)予測値低下量図(トンネル掘削完了20年後)



**JR東海モデル 地下水位(計算上)予測値縦断図(南北方向(樺島付近))
(トンネル掘削完了20年後)**

